

皮膚科疾患遠隔医療 報告会に関するアンケート 調査報告書

目次

- ・ 調査概要
- ・ 調査結果要約
- ・ 調査結果
- ・ アンケート用紙

2016年3月

株式会社シード・プランニング

. 調查概要

1. 調査テーマ:
皮膚科疾患遠隔医療に関するアンケート調査

2. 調査背景と目的:
陸前高田市では、平成 28 年 3 月をもって高田診療所の閉院に伴い、岩手医大との皮膚科の遠隔医療が終了することになった。
そこで、平成 28 年 4 月より、県立高田病院に場所を移転し、皮膚科の遠隔医療を開始することになった。
しかし、「遠隔医療」は住民の皆様にとって、どういうものなのか十分理解されていない。
そこで、「皮膚科の遠療」を進めていくうえで、住民の皆様にはアンケート実施することになった。

3. 調査手法:
広報、新聞はじめ直接の呼びかけにより事前アンケートを配布回収
平成 28 年 2 月 27 日高田診療所で実施してきた成果の報告会を実施し、当日報告会后アンケート配布回収

4. 回収数:

アンケート	回収数
事前アンケート	39
当日アンケート	64

5. 実査期間:
平成 28 年 2 月 1 日～2 月 27 日

. 調查結果要約

1. 対象者属性

対象者の9割は陸前高田市の人であった。年齢は50~64歳が6割を占め、75%が女性であった。家族構成は2割が「ひとり暮らし」であった。

2. 皮膚科の受診状況

この1年間に皮膚科を受診した人は5割であった。皮膚科受診をした年齢は10歳未満から80歳以上までばらけたが、65~69歳が最も多かった。受診先は「高田診療所」「県立高田病院」「県立大船渡病院」「及川皮膚科クリニック」にばらけた。「岩手医大」に2名の回答があった。移動手段は8割が「自家用車」であった。移動時間は「10~30分」が6割でああ多。通院で困っていることは「時間がかかること」「交通手段が乏しい」ことであった。

3. 遠隔医療の認知度

遠隔医療について、約半数の人は「初めて聞いた」「聞いたことがあるがよくわからない」であった。高田診療所での遠隔医療の実施については、「知っているが受けたことはない」が半数を占めた。

4. 遠隔医療の説明を受けての第一印象・疑問点

成果報告会の講演以前にアンケート用紙の紹介文とイメージ図を見ての第一印象は、「受けたい」「素晴らしい」「良い」「医学の進歩に感謝」など好印象であった。

成果報告会の講演後は、「専門医の治療が受けられる」「画像が鮮明」など好印象が多いが、「かなり費用が高そう」「保険診療が適用になればいいと思う」など費用を気にしている回答もみられた。

疑問点の多くは「診療報酬がどのくらいになるか」であった。

5. 遠隔医療が患者様にとって良いこと

遠隔医療は「専門的医療が受けられる」ことが患者様に良いことだと多くの人は感じていた。

6. 遠隔医療の心配なこと

成果報告会の講演を聞く前のアンケートの紹介文とイメージ図だけでは、遠隔医療は画像の診察に不安が持たれたが、講演で実際に画像など見て講演を聞いた後ではかなり不安が解消されていた。治療費への不安は残っていた。

7. 遠隔医療において皮膚科以外の医師の立会について

皮膚科以外の医師の立会については、成果報告会の講演以前のアンケートでは「全く問題ない」「どちらかと言えば問題ない」が多く、7割強だったが、講演後は9割強とほとんどの人が問題を感じていなかった。

8. 遠隔医療への受診意向

遠隔医療への受診意向は、成果報告会の講演以前のアンケートでは「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が多く、77%だった。講演後は89%の人が受診意向を示した。

その理由の多くは「専門の診療が受けられる」であった。受診したくない理由は「別に受診先がある」「診療に時間がかかりそう」「直接対面で専門医に診てもらいたい」であった。

9. 成果報告会・講演会の感想

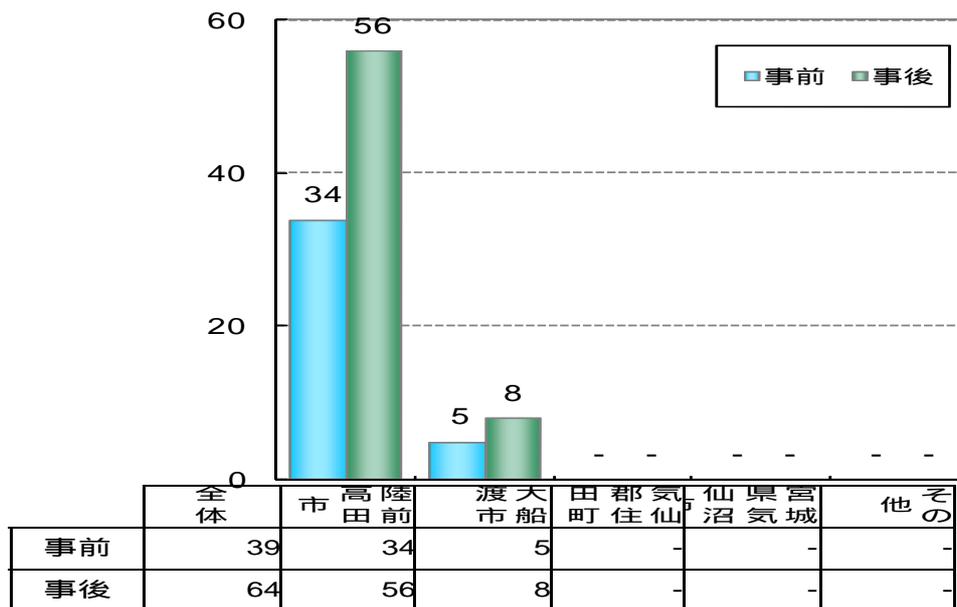
成果報告会・講演会はほとんどの人が「参考になった」と回答している。スキンケアは有用だったようで多くの人が参加したことへの感謝を示していた。

. 調查結果

1. 対象者属性

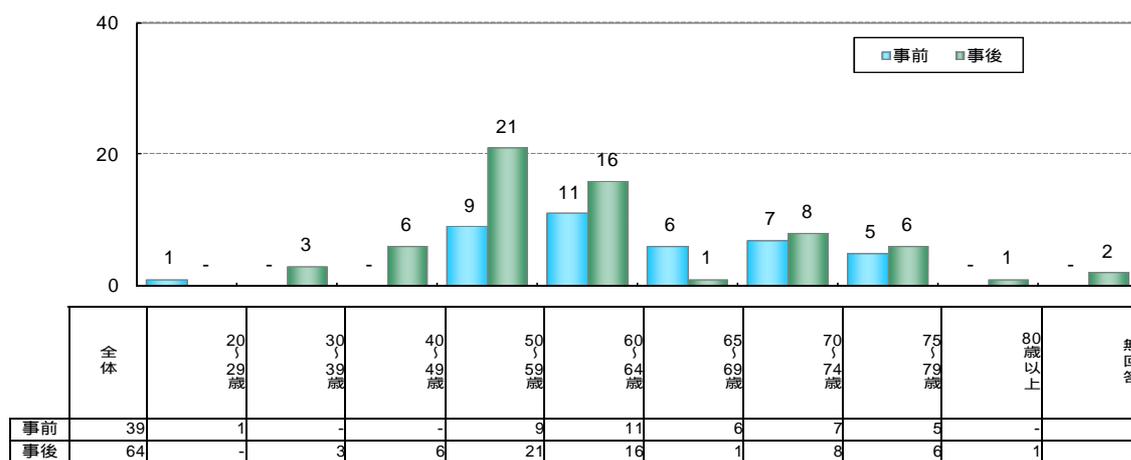
居住地域

前・後とも「陸前高田市」の人が90%弱を占めた。残りがすべて「大船渡市」であった。



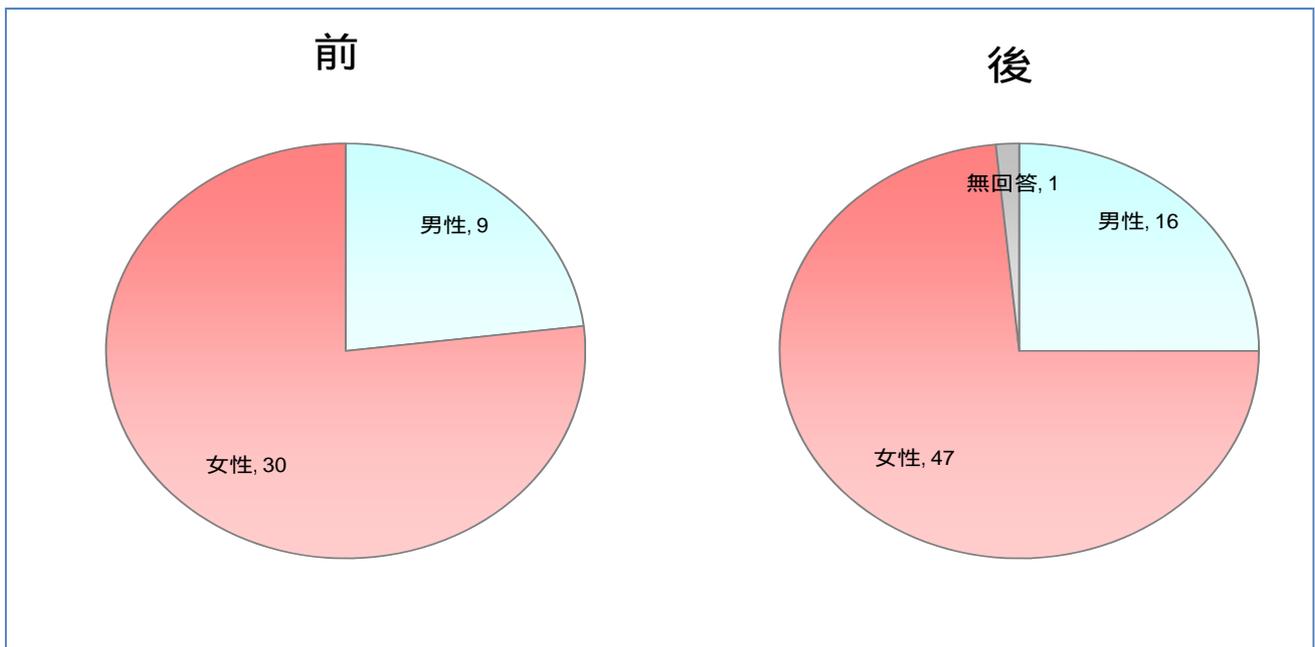
年齢別

前・後同傾向で50歳～64歳が50～60%を占める。



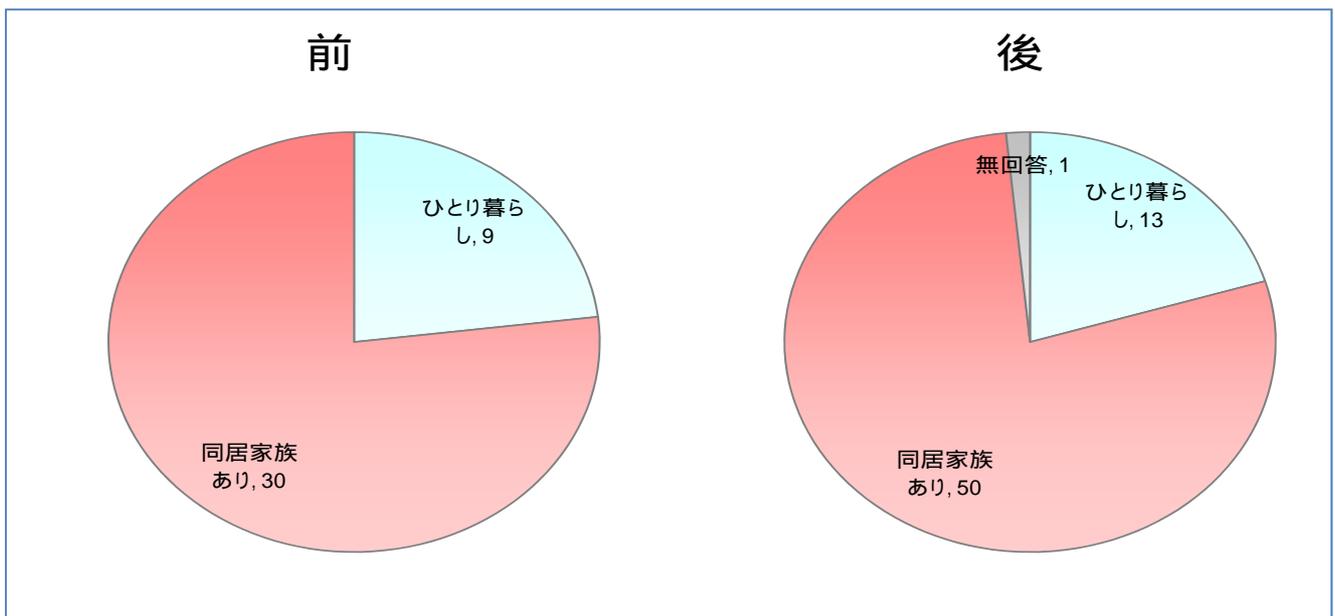
男女別

前・後同傾向で女性が多く、75%を占める。



家族構成

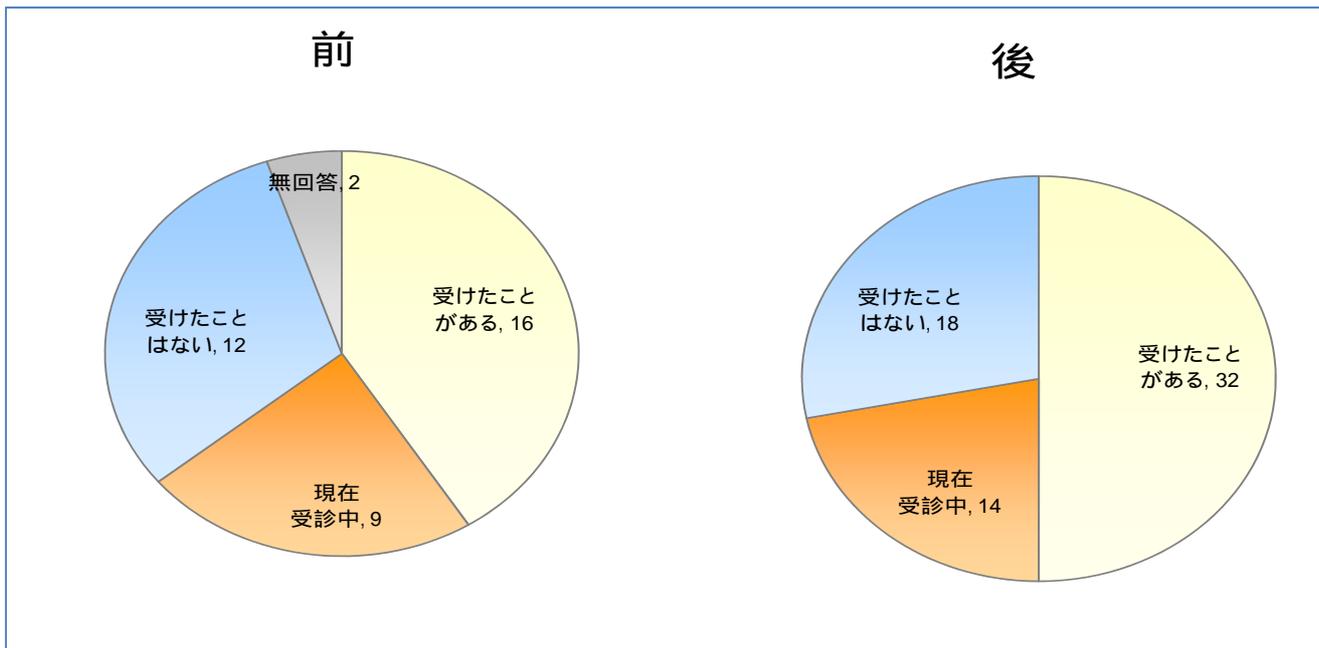
前・後同傾向でひとり暮らしは2割。



2. 皮膚科受診状況

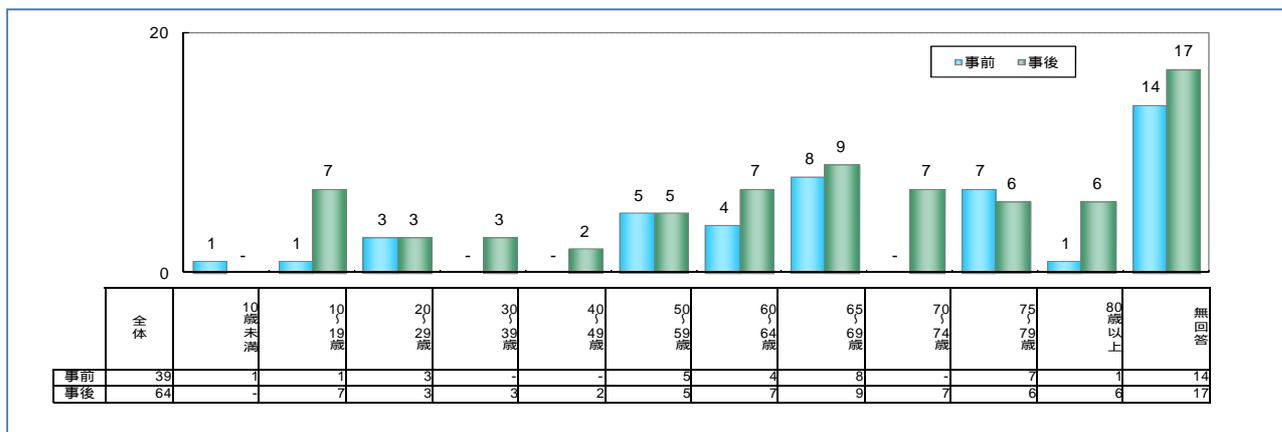
この1年間にご自身またはご家族が皮膚科受診

前・後同傾向で「受けたことがある」5割、「現在受診中」2割、「受けたことがない」3割。



皮膚科受診家族の年齢

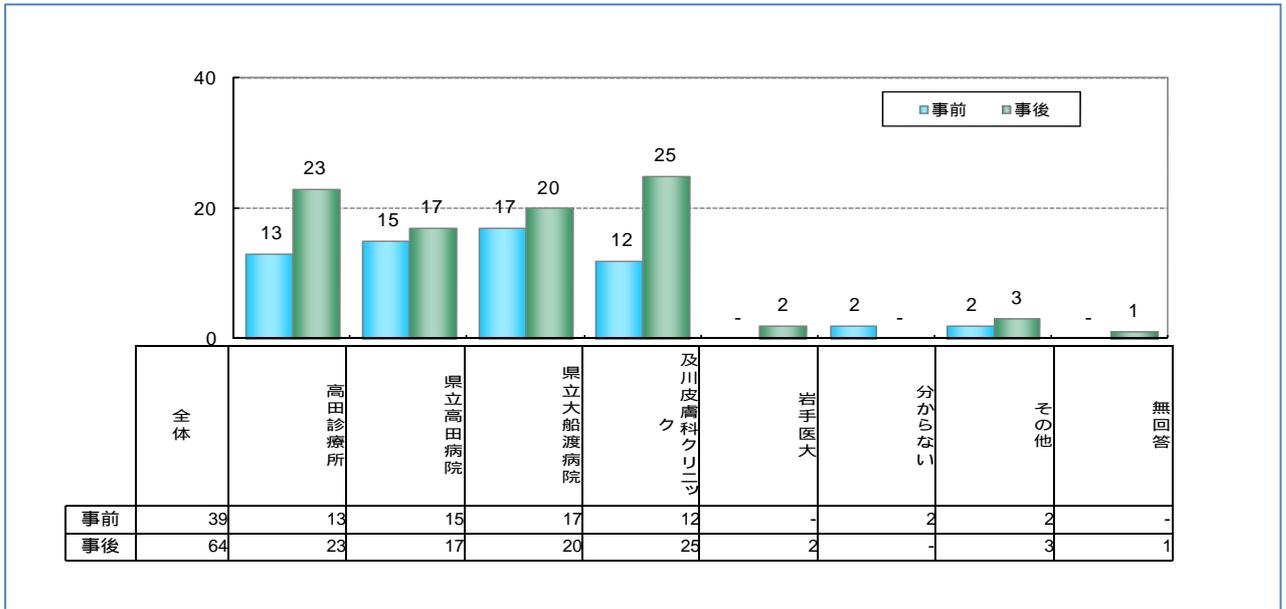
前・後とも年齢はばらけたが、65～69歳が2割を占め最も多い。



受診先病院

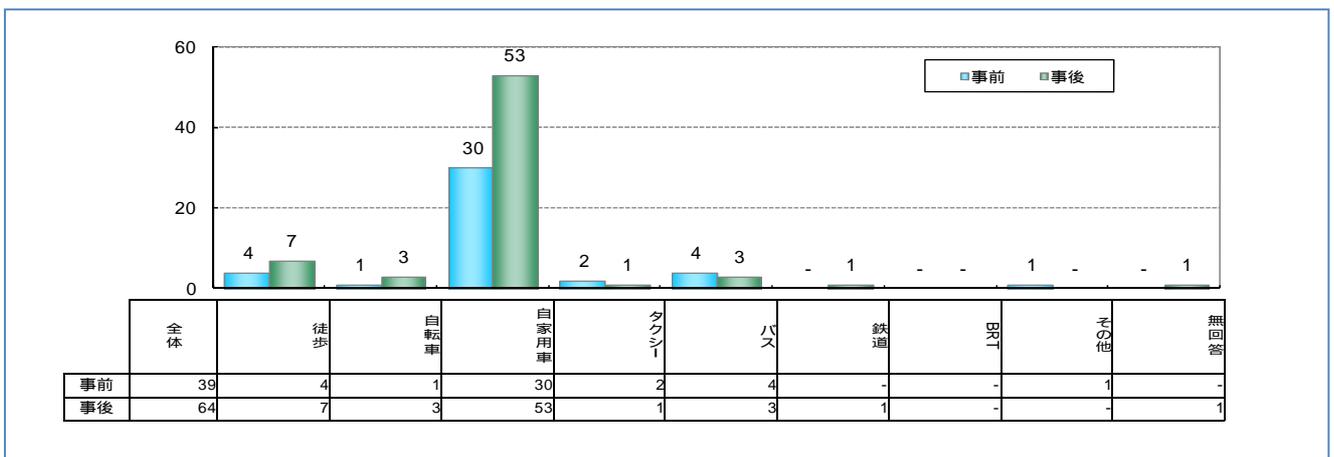
「高田診療所」「県立高田病院」「県立大船渡病院」「及川皮膚科クリニック」が同じくらい多く、1つの医療機関に集中していることはなかった。岩手医大は、後のアンケートで2名いた。

その他として、「鶴浦医院」「東北労災病院」「赤坂医院」が挙げられた。



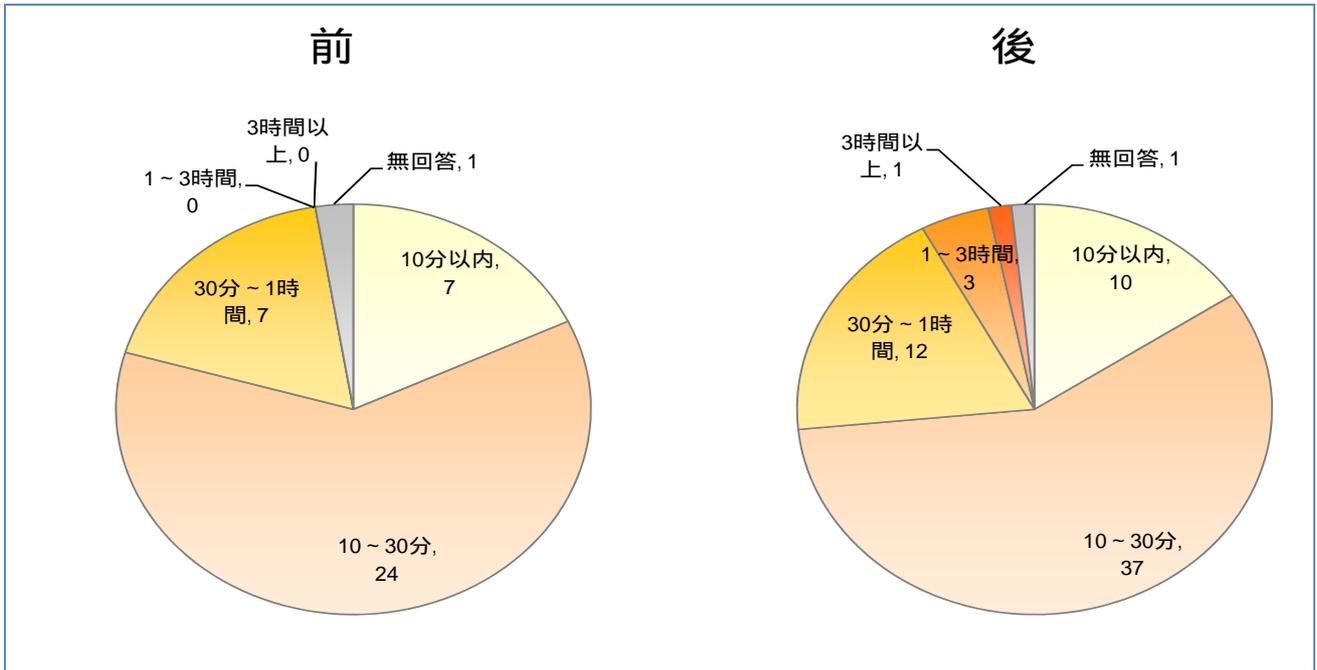
受診先の病院までの移動手段

前・後同傾向で「自家用車」が8割。その他として「バイク」が挙げられた。



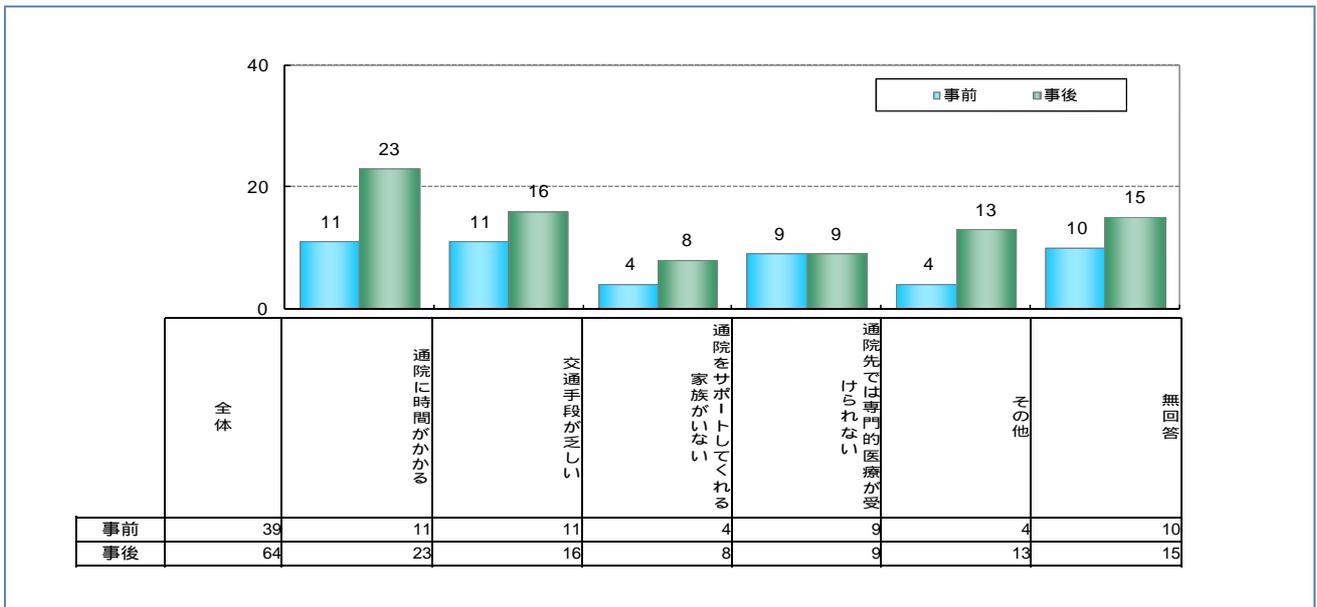
受診先の病院までの片道の移動時間

前・後同傾向で「10～30分」が6割と多い。



通院で困っていること

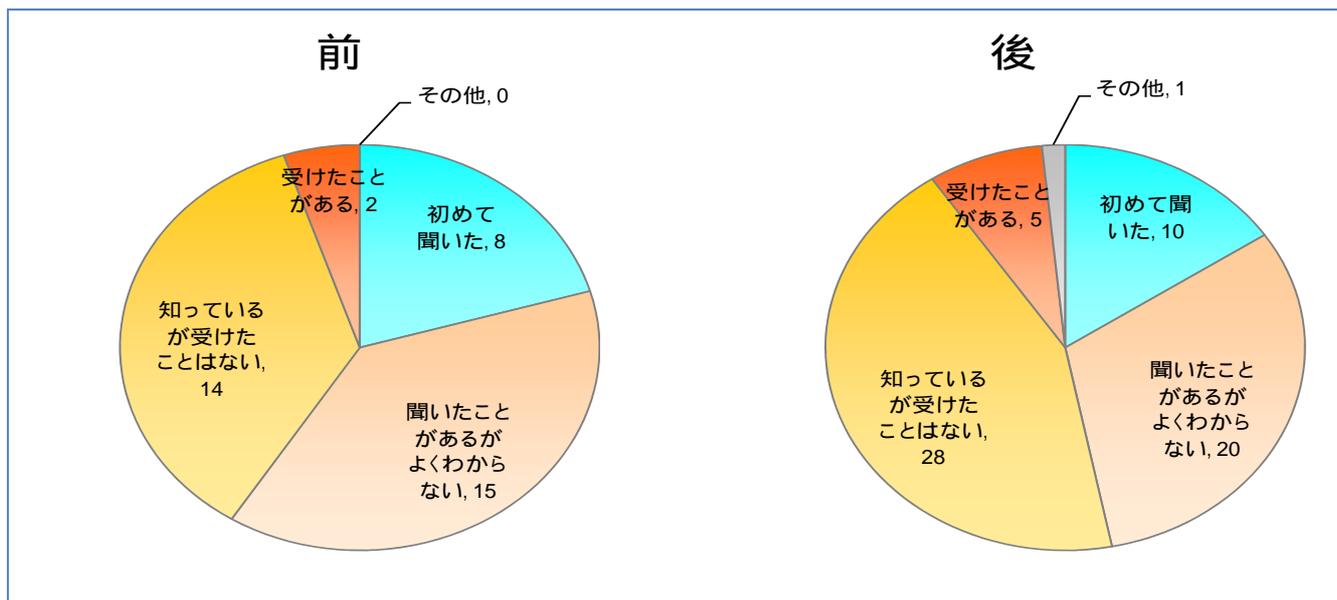
「通院に時間がかかる」ことが通院時の困りごととして多く3割。次いで「交通手段が乏しい」ことであった。その他として、「待ち時間が長い」「予約時間が遅れる」が挙げられた。



3. 「遠隔医療」について

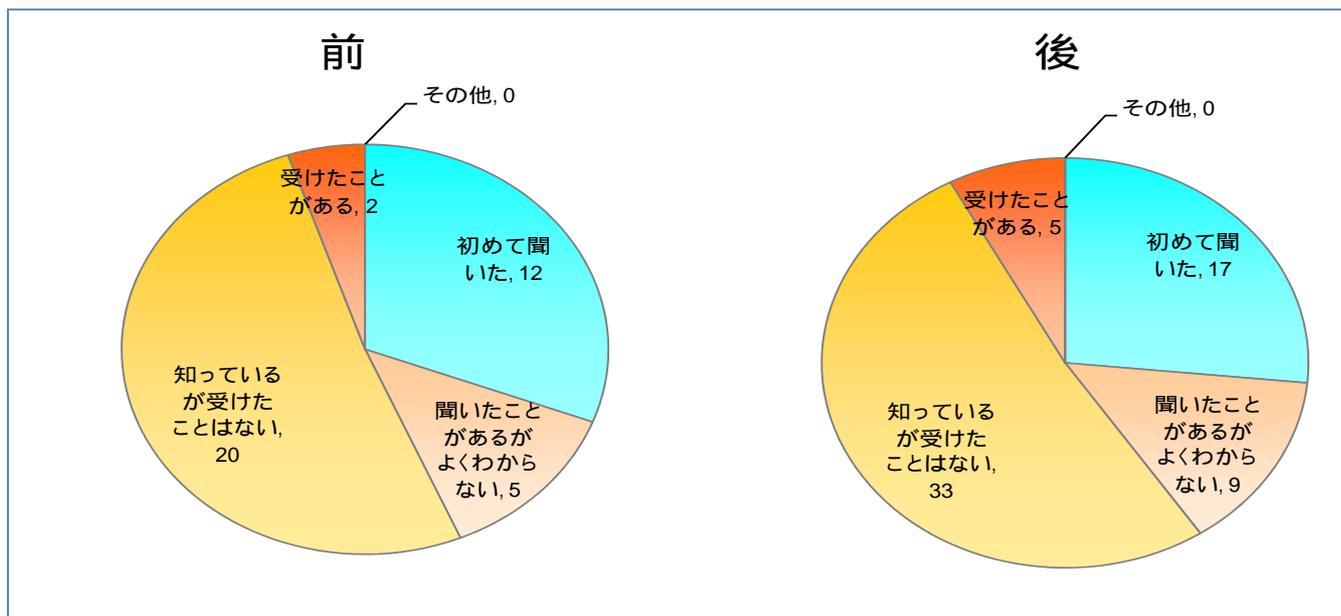
遠隔医療の認知度

前・後同傾向で「初めて聞いた」「聞いたことがあるがよくわからない」が約半分を占めた。



高田診療所での「遠隔医療」実施の認知度

「知っているが受けたことがない」が多く5割。「受けたことがある」は1割弱。「初めて聞いた」は3割弱。



「遠隔医療」の説明を受けて第一印象

<前> アンケート用紙の紹介文とイメージ図を見て

- 遠隔医療を受けたい。
- 便利になると思う。
- TV画像で知っていたけど、実際に自分が遠隔医療された事はラッキーだったと思いました。何よりも疑問に丁寧な説明をして頂き、「不安解消！」したことです。医学、医療の素晴らしさに驚きました。
- 素晴らしいシステムと感じます。特に冬場に盛岡まで行くことは大変なので是非利用したいと思います。
- 医学の進歩に感謝です。
- 良いと思う。

<後> 成果報告会の講演を聞いて

- 専門医の治療が受けられる。(4)
- かなり費用がかかりそう。(4)
- 保険診療が適用になればいいと思う。(3)
- 努力、研究成果はすばらしい。(3)
- 是非進めてほしい。(2)
- 画像が鮮明(2)
- お医者さんにいてもらった方がいい。
- 不安がない。
- 有効な方法
- 国や厚生労働省がより本腰を入れてほしい。
- 制度の定着
- 不便をされている患者さんの役に立つ
- どの地域でも受けられると良い。
- 病院不足の地方では特に必要
- お金の面とか私達で出来る事はないか。
- まだわからない。

()は複数回答者数

「遠隔医療」の説明を受けて疑問点

<前> アンケート用紙の紹介文とイメージ図を見て

- 診察料はどのようになっているか。
- 通院側の方は医療従事者(機械操作?)か。
- 医師と患者の意思疎通が対面治療と同じように受診できるのか。
- モニターでわかるのか。
- 約束できるのか。
- 皮膚科以外での利用はどうか。
- 目で見るのと、画面で見ると違う、治療方法、薬も違うのではないか。
- 視診だけで診断が正確にできるのだろうか。
- 検査が必要な時の対応は可能かどうか。
- 鑑別が難しい皮膚疾患もあるのではないか。

<後> 成果報告会の講演を聞いて

- 診療報酬がどのくらいになるか。(5)
- 現行保険制度にどのように対応しているのか。
- 情報が漏れてしまうのではないか。
- 画像だけで判断できるのか。
- 在宅でどのようにするのか。
- 看護師さんとのチームワークはどうするのか。
- 時間は長くかからないか。
- 紹介状料は患者負担か。
- 内科的な場合、遠隔医療が使えるのかどうか。
- 高額医療費がどうなのか。

「遠隔医療」が患者さんにとって良いこと

<前> アンケート用紙の紹介分とイメージ図を見て

- 専門的医療が受けられる。(8)
- 通院しやすい。(6)
- 皮膚科の先生がいなくても受診出来る事。(3)
- いつでも受診ができる。(2)
- 安心(2)
- 顔面治療中でしたが、中々治らずストレスが溜まるだけでした。「広報りくぜんたかた」で遠隔医療に着目し、セカンドオピニオンのつもりで受診したところ、なるほどと納得できて本当にありがたく思いました。年を重ねると体調を崩す人が少なくないです。ストレスからの疲労感や脱力感にとらわれない様に、先進の遠隔医療が4月からも本市で開始される予定とか！最高です。
- 田舎にはいいシステムだと思います。
- 遠くの田舎に住んでいても、今日のお話をお聞きしまして大変心強く思いました。参加して本当に良かったと思えました。
- よく知らないが受けてみたい。

<後> 成果報告会の講演を聞いて

- 専門的医療が受けられる。(27)
- 通院しやすい。(6)
- 安心(3)
- 費用と時間が削減できる。(2)
- 地域医療を持続して行く上で、なくてはならないシステム
- 取り組みが確立することを期待

「遠隔医療」の心配なこと

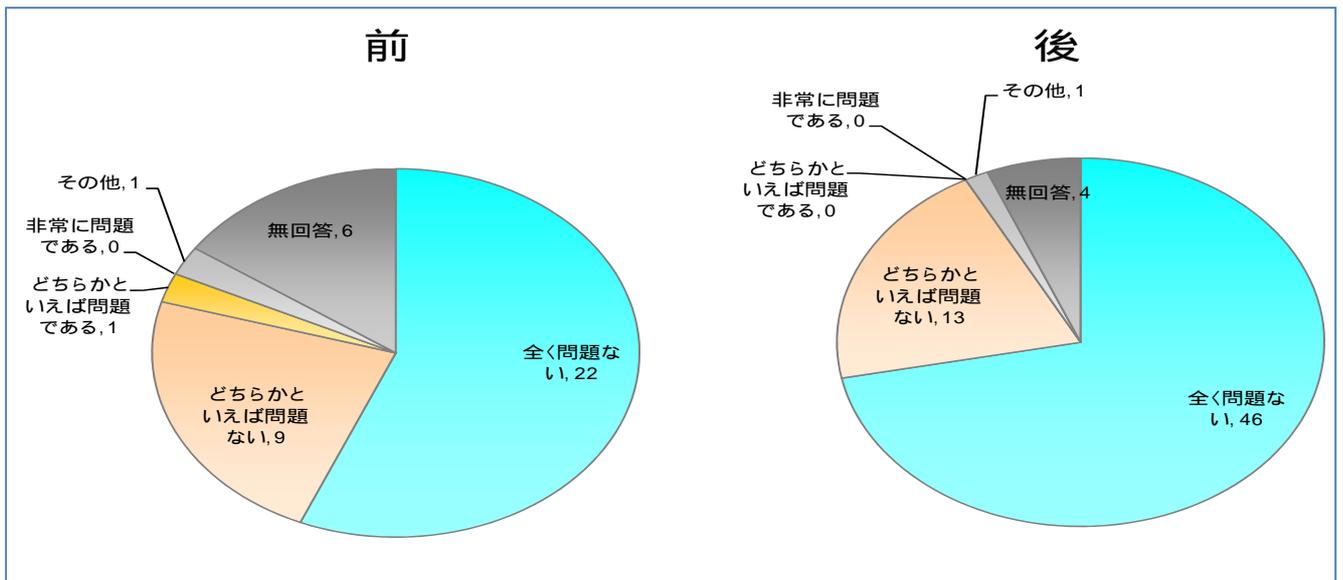
<前> アンケート用紙の紹介分とイメージ図を見て

- 診療報酬はいくらになるか。(2)
- 医師が処方してくださった薬がすぐ手に入るでしょうか。
- 検査とか手術の段階になったらスムーズに次に進めるでしょうか。
- 主治医となる先生は誰かわからない。
- 遠隔医療をして本人に結果がわかりますか。
- 皮膚の病気は数多いことありますか。見分け方、食べ物、薬
- 画像診察なので心配なところがある。
- 保険が適用されるのかどうか。
- 直接先生が肌に触れる事が出来ないと思うのでその点はいかがでしょう？
- 今のところはわからない。
- 触診、視診が専門外の医師でもうまく伝わるのか。
- 画面だけの診断で判断ミスする事がないのかと思う面もあります。
- 画像で色調が正確にわかるか不安がある。
- 完全治療が出来るのか不安がないわけではない。
- 費用が高くなるイメージがある。
- 鑑別診断・スキンケアの指導(実践)・インフォームドコンセント

<後> 成果報告会の講演を聞いて

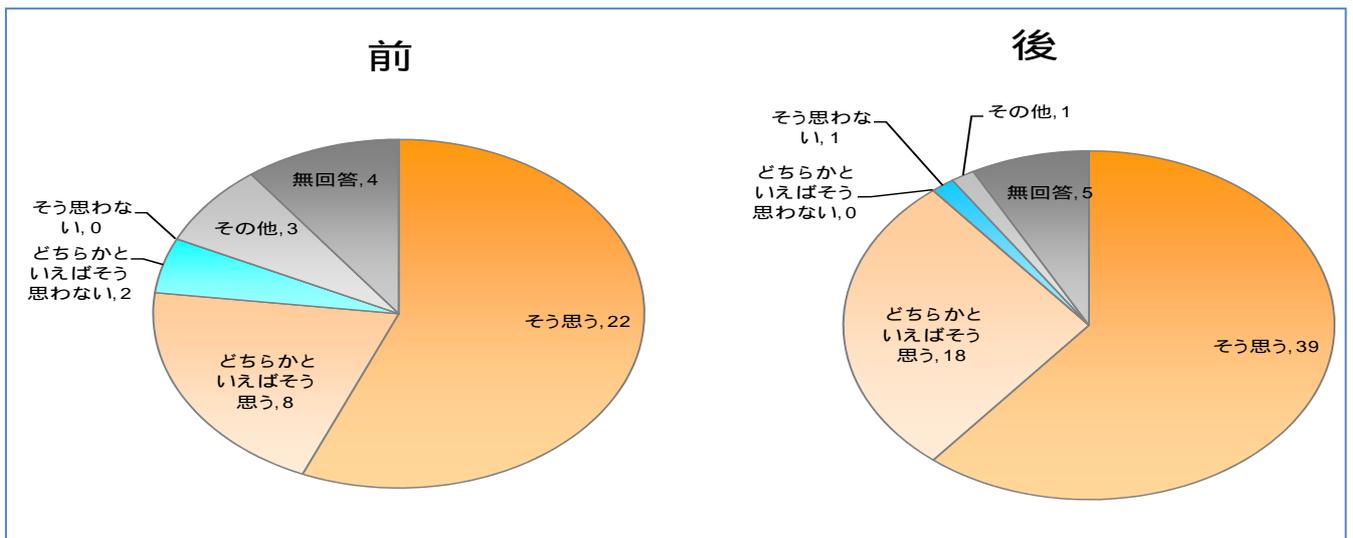
- 治療費がどうなるのか。(8)
- 初めて受診する人にその事を理解して頂くことが重要。
- 画像だけで診断できるか。
- 直接診て欲しいときはやはり大学に行く。
- 今のところわからない。
- 遠隔医療で判断できない病状についてスムーズに専門医に直接診断して頂くシステムを構築してもらいたい。
- 医師の中でその理解がどの程度ひろがっているのか。
- 心配は解決した。

「全く問題ない」「どちらかといえば問題ない」が9割と多く、「全く問題ない」は前で66.7%が後では76.7%と10%多くなっている。「非常に問題ある」は前・後ともいない。「どちらかといえば問題ある」は前で1名いた。その他として、「皮膚の病気なのか、その他、内臓の病気なのか知るのに、他の先生の立会いも良いと思う」が挙げられた。



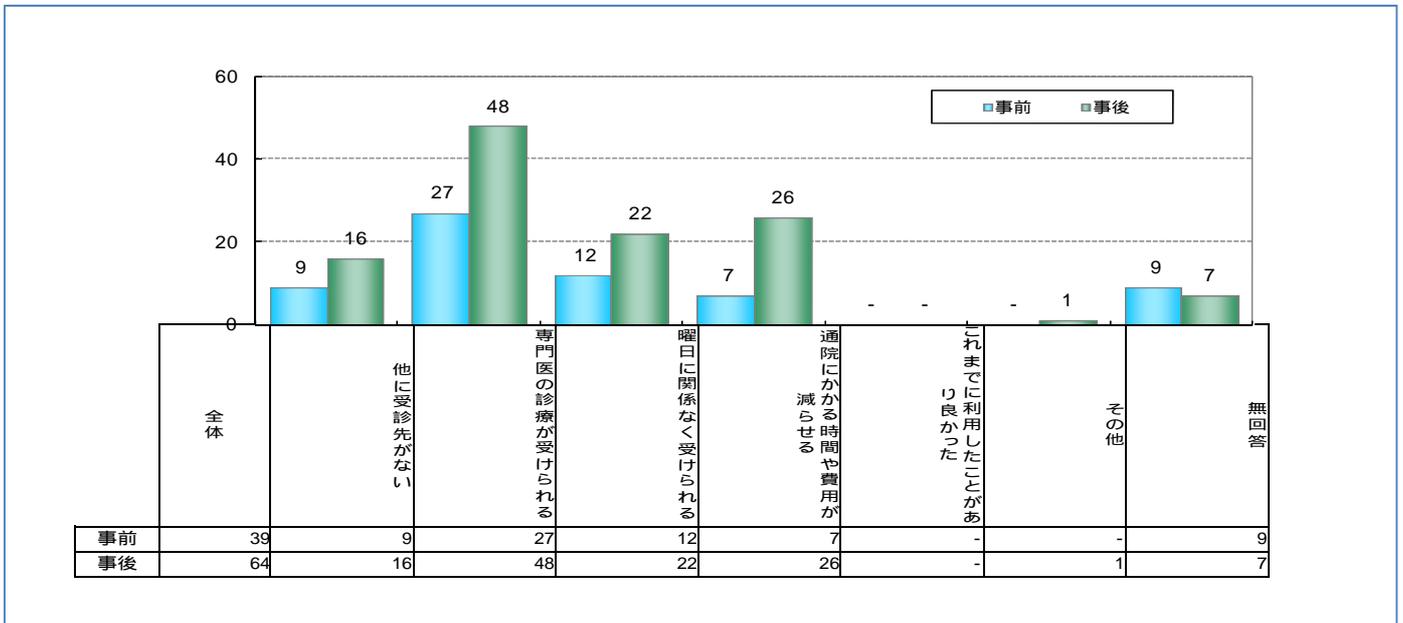
「遠隔医療」への受診意向

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多く、8割強。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」は前で2名、後で1名いた。その他として、「どちらでもよい」「近くに皮膚科がある」「どうしても受診しなければいけない場合」が挙げられた



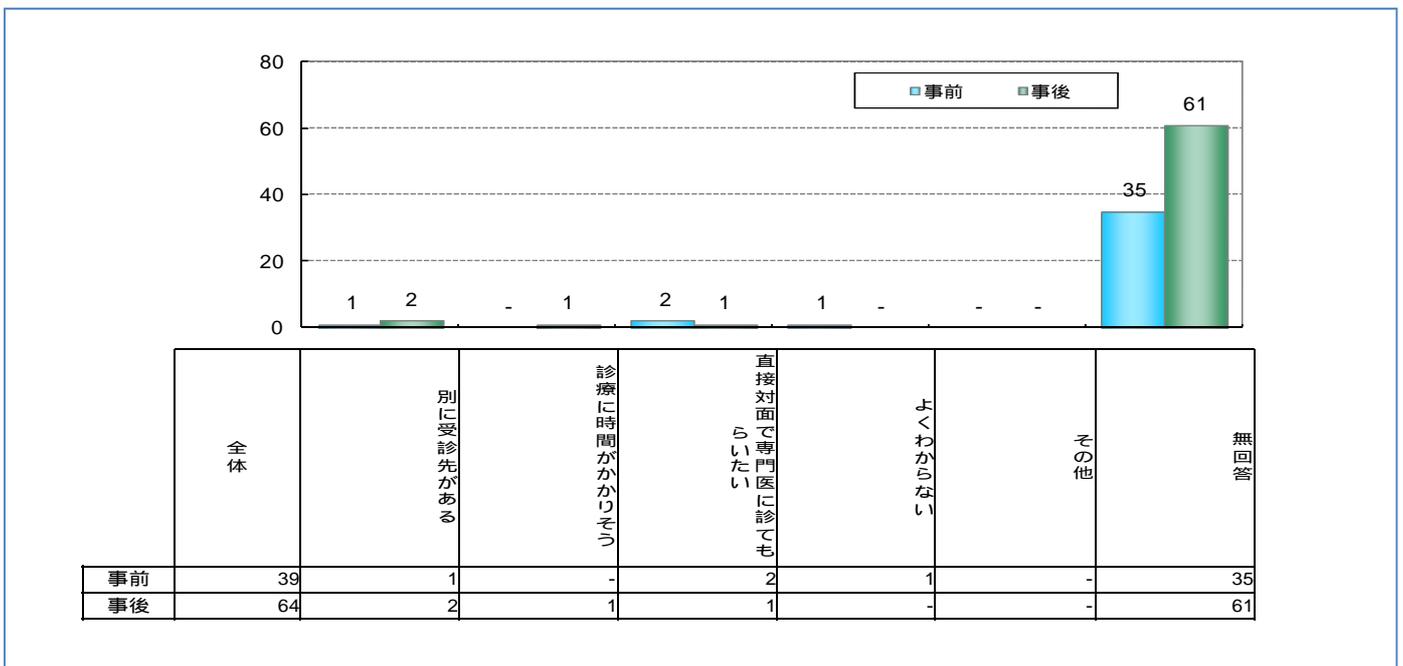
「遠隔医療」を受診したい理由

受診した理由は前・後とも同傾向で「専門医の診療が受けられる」に集中し7割強。次いで「曜日に関係なく受けられる」「通院に係る時間や費用が減らせる」であった。その他として、「現在受診中だが、良い悪いの繰り返しで治らない」が挙げられた。

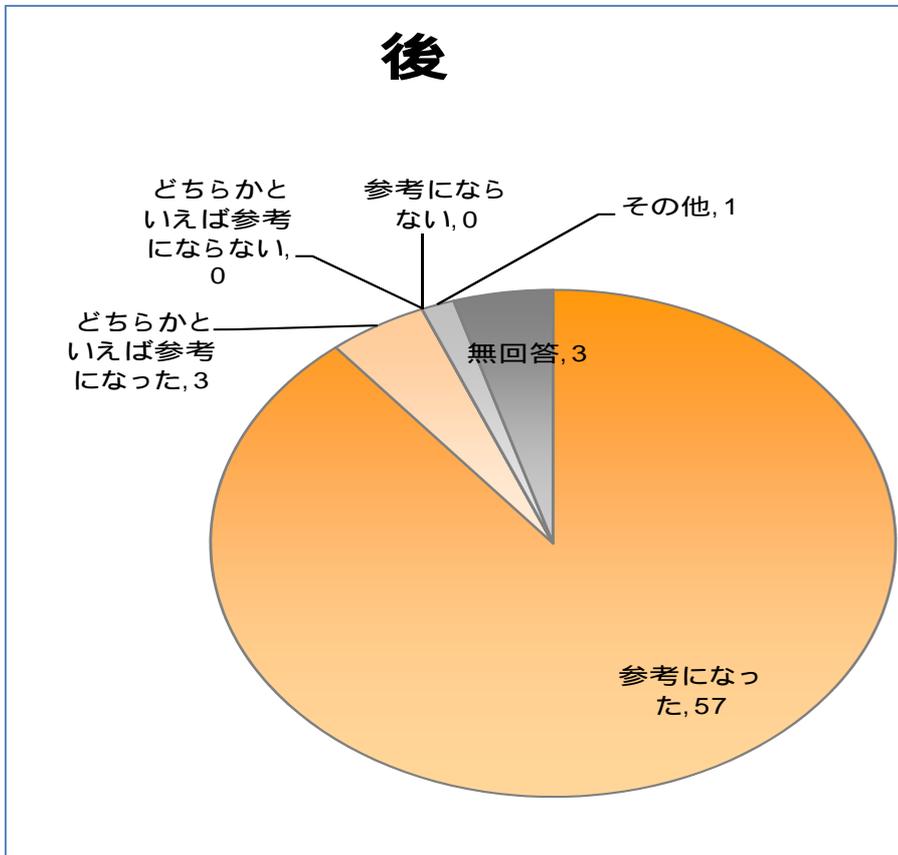


「遠隔医療」を受診したくない理由

前では、「直接対面で専門医に診てもらいたい」、後では、「別に受診先がある」であった。



成果報告会・講演会後の参考度では9割強の人が参考になったと回答している



11. その他意見

<前> アンケート用紙の紹介分とイメージ図を見て

- ・ 私自身、皮膚科なのか外科なのかわからない時があるのでそういう時はどうすれば良いのでしょうか。何か手引書とか冊子があればいいと思います。
- ・ 本日の講演会のお知らせを頂き、本当にありがたいことです。
- ・ 個人病院のように、午前午後と診療時間があると良い。(9時～12時と15時～18時など)
- ・ 私はアレルギー性はないと思っていますが今はどうか知りたい。
- ・ このような会を開いて頂いてありがとうございます。
- ・ 診断がきちんとついて、薬のみ処方の場合には待ち時間の短縮などの点ではとても助かります。
- ・ 私は時々ジーンズがよくできます。その時は先生がいなくても内科の先生でもいいのですごくいいです。
- ・ 山の中の仮設にいる為、山の中にいる虫ダニです。よく刺されます。それも先生が来る時でしか診てもらえなかったのが遠隔医療で診てもらえるのでよかったです。
- ・ 乾燥肌と言われ通院しているが(2年間程)なかなか治らない。病院を変えるのもどうかと思っている。点滴を週2回程度すると良くなり、1～2週間に1度に変更するとまた悪くなる。その繰り返しで2年間続いている。
- ・ 近くの病院に皮膚科専門の常勤医がいることが望ましいのであって、遠隔医療は究極の手段だと思う。直接対面で専門医に診てもらいたいのが本音である。

<後> 成果報告会の講演を聞いて

- ありがとうございます。(2)
- ネックは診療代
- 私は服を着てから保湿する。
- 外用剤の使用方法が理解できた。(講義だけでなく実習あり)
- 遠隔診療が4月以降も実施されることは高齢者の一人としてありがたい。
- 画像を見ての講座に参加することが出来て様々なことを知ることが出来た。
- 背中に保湿剤を塗る時の方法を知りよかった。
- 先端の研究が本市で行われた事に敬意。
- 是非継続し定着して欲しい。
- もう少し早く知りたかった。
- このような診療を受けられるよう、継続を是非進めて欲しい
- 夏になるとよく行くのでよろしくをお願いします。
- 遠隔医療の効果を検証して頂き、効果が高いものであれば皮膚科に限らず進めて欲しい。その為に受診する側で手伝えることがあるのであればその部分についても広く周知して欲しい。
- あらかじめ申し込み制なのだから席は十分に確保しておくべきだと思う。
- このような講演を聞くことが出来て有意義だった。
- わかりやすい内容の講演だった。
- 最後の声が少々低かったです。
- このような良い医療はもっともっと進めて行くべきで、地域住民に寄り添う事にもなると思う。なぜ今まで、いえ今もっと早く進められないのかが不満です。
- 大変有意義な時間でした。
- 自分では皮膚科を簡単に考えていて、今日のお話をきいて2つのイボについて4月に受診したいと思いました。「冬場のトラブル」のお話も非常に参考になりました。実際に実演実技をして頂きとてもよかったです。
- 高田でのお仕事お疲れ様でした。今後ともよろしく願いいたします。
- お話とてもよくわかりました。色々ご苦労もあったこともわかりました。
- いつも気仙地区の患者さんを丁寧に診察していただき、普段より感謝しております。
- スキンケアの講義もとてもわかりやすく楽しく聞けました。ありがとうございました

. アンケート用紙